



東京発電は、おかげさまで創立90周年を迎えました。

東京発電は、みなさまへの感謝の気持ちをお伝えする訪問活動として、「おかげさま活動」を実施いたします。

「おかげさま活動」実施期間：2018年7月23日(月)～9月30日(日)

当社は、昭和3年に前身である姫川電力株式会社を設立し、おかげさまをもちまして、本日、創立90周年を迎えました。

これまでに賜りました、地域のみなさまからのご理解・ご厚情ならびにお取引先をはじめとしたパートナーのみなさまのご協力に感謝申し上げます。

スローガン

「地域のみなさまに支えられ、おかげさまで90年
感謝の心を胸に未来に向かって持続可能な社会づくりに貢献します」

ロゴマーク



9と0の文字を、それぞれ電気と
水をイメージしてデザインしました。



地域のみなさまに支えられ、
おかげさまで90年
感謝の心を胸に未来に向かって
持続可能な社会づくりに貢献します

東京発電は、1928年に東京電燈（現東京電力HD）の傍系会社、姫川電力として創立された水力発電の専門会社で、今年、創立90周年を迎えました。この間、開発と既設発電所の譲り受けを進めるとともに、至近では、地球環境問題から再生可能エネルギーが注目を集める中、上下水道施設や農業用水路など身近なところに眠っている未利用エネルギーを活用するマイクロ水力発電事業にも取り組み、関東甲信越地域に77か所、総出力約18万7kWの水力発電所を有する会社に成長しました。

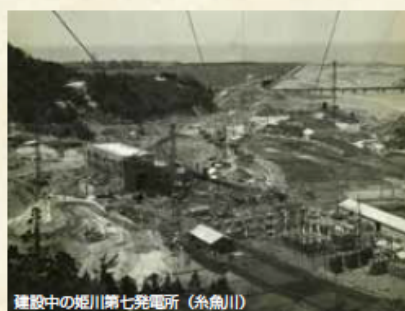
また、1986年、現在の社名に変更し、発電のプロフェッショナル集団として、水力発電所だけでなく、火力発電所や風力発電所の建設・運転・保守業務の受託に取り組むなど新たな事業分野の開拓も進めております。

こうした成長を遂げることができましたのも、発電所立地地域のみなさまやお取引先をはじめとするパートナーのみなさまのご理解・ご協力の賜物と感謝しております。

私たち東京発電は、今後も、地域社会との共存、環境との調和を最優先として、常に変革に挑戦し、発電事業を通じてエネルギーへの多様なニーズに応え、持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

2018年7月
東京発電株式会社
代表取締役社長

堀部慶次



建設中の姫川第七発電所（糸魚川）



現在の姫川第七発電所（糸魚川）



土樽発電所（群馬）



運送初期の中里発電所（茨城）



落合楼発電所取水口（三島）



雨畑川発電所（三島）



玉置ダム（埼玉）

東京発電のあゆみ

昭和 3年 7月	姫川電力株式会社として会社を設立
昭和 30年 1月	姫川第七発電所の営業運転
昭和 35年 10月	赤谷川第二発電所の営業運転
昭和 36年 12月	赤谷川第三発電所の営業運転
昭和 39年 9月	土樽発電所の営業運転
昭和 48年 4月～ 昭和 60年 4月	東京電力（株）より7次に分け中小水力発電所を譲り受け（茨城・静岡・埼玉に所在する40発電所）
昭和 52年 10月	雨畑川発電所の営業運転
昭和 53年 4月	田ノ入発電所の営業運転
昭和 56年 11月	新小滝川発電所の営業運転
昭和 58年 10月	川又発電所の増設
昭和 61年 6月	東京発電株式会社に変更
昭和 61年 7月～ 平成 9年 6月	東京電力（株）燃料電池の研究に協力（新東京火力発電所200kW・五井火力発電所11,000kW燃料電池運転受託、芝浦200kW燃料電池運転協力）
平成 9年 10月	竜島第二発電所の営業運転
平成 11年 6月～ 平成 26年 6月	IPP（株）トーメンパワー・寒川・寒川パワーステーションの運転受託
平成 12年 4月	IPP（株）トーメンパワー・横須賀（平成15年8月（株）東京ガス横須賀パワーに社名変更）への事業参加
平成 13年 4月	常盤興産（株）より横川発電所を譲り受け
平成 15年 5月	日鉱金属（株）柿の沢発電所の運転受託（平成28年1月JX金属（株）に社名変更）
平成 17年 3月	日本自然エネルギー（株）よりマイクロ水力発電事業の営業譲り受け（江ヶ崎、湯川発電所設備譲渡は平成17年10月）
平成 17年 10月～ 平成 22年 9月	（株）ユースエナジー・ジャパン青森支店の風力発電運転保守業務受託

平成 18年 6月	IPP（株）東京ガス横須賀パワー・横須賀パワーステーションの運転受託
平成 18年 8月～	「水力発電再生事業」として落合楼発電所の営業運転 ・華川発電所 H23.2営業運転 ・須雲川発電所 H25.8営業運転
平成 18年 8月～	マイクロ水力発電事業「Aqua μ（アクアミュー）」により 竜沼発電所の営業運転開始 ・港北発電所 H18.10営業運転 ・若田発電所 H19.10営業運転 ・藤張発電所 H20.4営業運転 ・妙典発電所 H20.5営業運転 ・山宮発電所 H21.4営業運転 ・大宮発電所 H23.4営業運転 ・白川発電所 H23.5営業運転 ・北部第一第二発電所 H23.11営業運転 ・北船橋発電所、尾間木発電所 H26.2営業運転 ・深作発電所、古都辺発電所 H26.4営業運転 ・赤坂山発電所 H28.2営業運転 ・泉水発電所、平間発電所 H28.5営業運転 ・ふくしま北部配水池発電所 H30.4営業運転
平成 19年 3月	全事業所の運転監視を群馬事業所に統合
平成 19年 11月	東京電力（株）より氷川発電所を譲り受け
平成 20年 4月	埼玉県より玉淀他4発電所を譲り受け
平成 20年 4月	東京都交通局（多摩川第一他2発電所）の運転業務等を受託
平成 23年 1月～	新潟県企業局（広神発電所）の巡視・点検等の業務を受託 ・高田他2発電所の巡視・点検等の業務を受託（H23.4～）
平成 28年 7月	福島県いわき建設事務所（高柴ダム発電所）の点検業務を受託
平成 29年 7月	（株）ユースエナジー・河津の風力発電設備の保守点検業務を受託



90周年記念ロゴマーク

9と0の文字を、それぞれ電気と水をイメージしてデザインしています。数字の輪の部分をかめることで、水力発電における電気と水の密接な関係を表現しています。また、キャラクターを組み合わせ、東京発電のイメージを強化しています。

経営理念

発電事業を通じてエネルギーへの多様なニーズに応え、持続可能な社会づくりに貢献する。

有形文化財



石岡第一発電所 [平成20年12月重要文化財指定]
明治44年発電開始。我が国最初の鉄筋コンクリート製発電所。
※東北太平洋沖地震による滅失により、平成23年10月重要文化財指定一部（水櫃）解除



花貫川第一発電所第3号水路橋 [平成11年登録]
大正7年、発電所への導水路として建設された鉄筋コンクリート造アーチ橋。その形から「めがね橋」と呼ばれています。



賀美発電所 [平成16年11月登録]
大正8年発電開始。木造の本館建物、背後の水圧鉄管、前面の排水路などが周辺の自然環境とほどよく調和しています。



小里川発電所 [平成16年11月登録]
大正15年発電開始。本館建物は鉄筋コンクリート造。杉林の斜面を水圧鉄管が一気に下っている景観は迫力があります。



徳田発電所 [平成16年11月登録]
大正15年発電開始。里川水系の3発電所の中で最も上流にあります。本館建物は賀美発電所と同じ木造ですが、構造が異なります。



石岡第二発電所 [平成18年8月登録]
大正3年発電開始。本館建物は鉄筋コンクリート造。県道脇に位置し、外観は石岡第一発電所をコンパクトにしたつくりとなっています。

東京発電株式会社

(本社) 東京都台東区池之端1丁目2番18号 いちご池之端ビル3階
TEL 03-6371-5200(代表) FAX 03-3828-5622
<http://www.tgn.or.jp/teg/>



東京発電

検索



おかげさまで
90周年

～これからも地域の皆さまと～



TEG 東京発電株式会社